

中部 だより



中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きした、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。

飯田下伊那地域の活性化に向けて ～エス・バードを核とした挑戦～

1. 飯田下伊那地域が抱える課題

飯田下伊那地域※は、長野県南部に位置し、東西に南アルプスと中央アルプスがそびえ、南北には天竜川がたつらぬく自然豊かな地域だ。食品産業や精密機械工業が地域を支えてきたが、生産拠点の海外移転などで生産量が減少している。また、若者の流出による深刻な人口減少にも直面している。その要因として、当地には4年制大学がなく、高校を卒業する若者の70%が地域を離れていってしまう。Uターン者もいるが40%ほどしか地域に定着しないのが現状で、地域は強い危機感を抱いている。

これらの構造的な課題の解決に向け、産業界、自治体、信州大学が連携し、魅力ある産業の創出・振興と学びの場を確保するため、産業振興と人材育成の拠点として「エス・バード」を設立。航空機産業をはじめとする飯田下伊那地域の産業の高度化、高付加価値化を目指し、人材育成から研究開発、実証実験までを一貫して行える施設と

なっている。リニア中央新幹線の長野県駅に近い旧飯田工業高校の空き校舎を活用し、対流・交流を生み出す場として今年1月に始動した。

※飯田下伊那地域：長野県南部の飯田市と下伊那郡（松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村）の14市町村からなる地域の名称。南信州とも呼ばれている。

2. 航空機産業を育てる機能

(1) 人材育成

エス・バードには、信州大学の南信州・飯田サテライトキャンパスが設置され、「航空機システム※共同研究講座」が開講されている。日本における航空機産業の売上の95%は、エンジンと機体の生産で、航空機システムは全体の5%ほどにとどまっている。航空機システムの将来的な成長に着目し、この分野の人材育成に本腰を入れている。



信州大学の大学院生が地域の子どもたちに航空機の楽しさを教える授業の様子

※航空機システム：各種計器、ランディングギア、座席シートなど、航空機に搭載する装備品で、エンジンと機体以外の全てのもの。

(2) 全国唯一の環境試験装置

エス・バードには、これまでに「着氷試験装置」「防爆性試験評価装置」「燃焼・耐火性試験装置」などが設置されている。航空機の安全性や信頼性を評価する日本で唯一の規格準拠の環境



防爆性試験評価装置



試験装置を揃え、地域にとどまらず全国の関係者に活用を促し、航空機産業を通じた連携やネットワーク化による波及効果が期待されている。

3. 食品産業の高付加価値化

飯田下伊那地域は、きのこや果物などの農林産品や味噌や漬物などの発酵食品、凍み豆腐や干し柿などの乾燥食品の生産が盛んで、半生菓子の生産は全国シェアの40%を占める。このような地域の食品産



地域で製造が盛んな半生菓子

業を支援する食品系試験室には、味を数値化する「味覚センサー」などの分析装置が設置されており、豊かな自然が生み出す食品のさらなる高付加価値化や、新商品の開発などが期待されている。



味覚センサー

4. 対流・交流の場づくり

地域の活性化につながる多様な人材の対流・交流を生み出すため、エス・バードでは、さまざまな仕掛けづくりに取り組んでいる。

インキュベーション施設は、リニア駅に近接し、特徴ある試験装置を利用した新ビジネスの創業や、企業のサテライトオフィスとして利用できる。コワーキングスペース「共創の場」は、無料Wi-Fiを備え、勉強やグループワーク、ダンスなどに活用され、社会人や学生の集いの場になっている。また、航空機の操縦体験ができる「フライト・シミュレーター」も設置されており、地域の子もたちが航空機産業に興味を持つ契機を提供する場にもなっている。



地域の子もたちがフライト・シミュレーターを操作する様子

5. 期待と展望



エス・バード外観

リニア中央新幹線の開業は、多様な人材が集まり対流・交流が生まれる大きなチャンスとなる。さらに、三遠南信自動車道が全線開通すれば、航空機部品、農林産品や加工食品の輸送時間も短縮し、海外への販路拡大も期待できる。

エス・バードは、産学官連携による飯田下伊那地域の活性化を目指す新たな挑戦の核となっている。航空機産業をはじめとする地域の多様な産業振興のために、ハブ機能を発揮するとともに、企業や大学・研究機関などが当地域への集積を図ることで、将来的な4年制大学や公的研究機関の設置、さらにはそれらを核とした田園型の学術研究都市を目指していく。

今後、エス・バードと中部圏の大学や研究機関、イノベーション拠点などのネットワーク化が図られれば、大きな相乗効果が生み出されることだろう。実現に向け、中部圏が一致団結するよう中経連としても広域での連携を促していきたい。

トップメッセージ

南信州広域連合長(飯田市長) 牧野 光朗 氏

エス・バードは、航空機産業をはじめとする当地域の多様な産業を支援し、コワーキングスペースなどを備えることで、さまざまな人と知を結び、新たな価値をとみに創造する施設です。

2027年開業予定のリニア駅にも近い本施設にぜひ一度お越しください。



文:長野担当 小笠原 慎

取材協力:飯田市、(公財)南信州・飯田産業センター